

CASBEE-建築(新築)2016年版
Sociale木津川台

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		全体	
		評価点	重み係数	評価点	重み係数
Q 建築物の環境品質					2.9
Q1 室内環境			0.40		3.0
1 音環境		3.0	0.15	3.1	1.00
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.50	3.0	0.50
1.2 遮音		3.0	0.50	3.3	0.50
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30
2 境界遮音性能	Rr=50		-	4.0	0.30
3 境界遮音性能(軽量衝撃源)			-	3.0	0.20
4 境界遮音性能(重量衝撃源)			-	3.0	0.20
1.3 吸音			-		-
2 温熱環境		3.0	0.35	3.1	1.00
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.3	0.50
1 室温		3.0	0.63	3.0	0.63
2 外皮性能	等級4を満たす	3.0	0.38	4.0	0.38
3 ゾーン別制御性			-		-
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	0.20
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30
3 光・視環境		3.0	0.25	3.0	1.00
3.1 昼光利用		3.0	0.40	3.0	0.50
1 昼光率		3.0	0.60	3.0	0.50
2 方位別開口			-	3.0	0.30
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20
3.2 グレア対策		3.0	0.40	3.0	0.50
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00
3.3 照度		3.0	0.20	-	-
3.4 照明制御		-	-	-	-
4 空気質環境		3.0	0.25	3.0	1.00
4.1 発生源対策		3.0	0.60	3.0	0.63
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	1.00
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33
2 自然換気性能			-	3.0	0.33
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33
4.3 運用管理			-		-
1 CO ₂ の監視			-		-
2 喫煙の制御			-		-
Q2 サービス性能			0.30		2.8
1 機能性		2.4	0.40	2.6	1.00
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	3.0	0.60
1 広さ・収納性			-		-
2 高度情報通信設備対応			-	3.0	1.00
3 バリアフリー計画		3.0	1.00		
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.0	0.40
1 広さ感・景観			-	3.0	0.50
2 リフレッシュスペース			-		-
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50
1.3 維持管理		3.0	0.30		
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50		
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30		3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80		
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20		
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30		
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20		
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		
2.4 信頼性		3.0	0.20		
1 空調・換気設備		3.0	0.20		
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20		
3 電気設備		3.0	0.20		
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20		
5 通信・情報設備		3.0	0.20		

3 対応性・更新性			3.0	0.30	3.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり					3.0	0.50	
1 階高のゆとり					3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ					3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00			
1 空調配管の更新性			3.0	0.20			
2 給排水管の更新性			3.0	0.20			
3 電気配線の更新性			3.0	0.10			
4 通信配線の更新性			3.0	0.10			
5 設備機器の更新性			3.0	0.20			
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)				0.30			2.8
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30			3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30			2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性							3.3
LR1 エネルギー				0.40			4.1
1 建物外皮の熱負荷抑制		等級4を満たす	4.0	0.20			4.0
2 自然エネルギー利用			2.0	0.10			2.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.80	5.0	0.50			5.0
4 効率的運用			3.0	0.20			3.0
集合住宅以外の評価							
4.1 モニタリング							
4.2 運用管理体制							
集合住宅の評価			3.0	1.00			
4.1 モニタリング			3.0	0.50			
4.2 運用管理体制			3.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル				0.30			2.7
1 水資源保護			3.0	0.20			3.0
1.1 節水			3.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60			
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70			
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30			
2 非再生性資源の使用量削減			2.5	0.60			2.5
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10			
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20			
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20			
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20			3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30			
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70			
1 消火剤			-	-			
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50			
3 冷媒			3.0	0.50			
LR3 敷地外環境				0.30			3.1
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率に考慮	3.9	0.33			3.9
2 地域環境への配慮			2.5	0.33			2.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25			
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25			
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25			
3 交通負荷抑制			3.0	0.25			
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25			
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33			3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1 騒音			3.0	0.33			
2 振動			3.0	0.33			
3 悪臭			3.0	0.33			
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40			
1 風害の抑制			3.0	0.70			
2 砂塵の抑制							
3 日照障害の抑制			3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			3.0	0.20			
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70			
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30			